



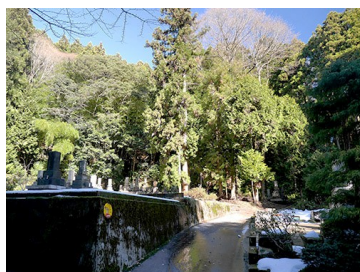
金丸城



主郭の東尾根筋に続く虎口

所在地：石川県鹿島郡中能登町金丸字沢
 別称：佛性寺堡
 立地：尾根頂部、標高116m
 城主：桃井氏、吉見氏、温井氏、八代氏
 時期：南北朝、戦国
 見学時間（参考）：約1時間30分

眉丈山の尾根筋を利用して、小字仏性寺山の山中に築城される。最高所の曲輪は小さく、西の尾根筋の曲輪が集中する場所を主郭と推定する。主郭から東西2筋に延びる尾根筋を道として、道をつなぐように主郭直下の傾斜を8段の細長い曲輪に段々に加工している。



墓地を横切って登城口へ

観応元年（1350）桃井兵庫助直信が能登に進攻し、能登国守護桃井兵部大輔義綱の籠る金丸城を攻めたが長野季光に撃退された。応安2年（1369）にも越中の桃井直常が能登に進攻し、能登国守護吉見氏頼は金丸城に吉見左馬助・得田章房、能登部城に吉見頼顕・得江季員を配して退けている。



西尾根筋の登城口
左の墓地背後の尾根を登る

天正7年（1579）能登奪還を目指す織田方の長連龍に対し、七尾方の温井景隆・三宅長盛兄弟は金丸城に八代肥後・古浦屋新助を配し、麓の仏性寺の坊舎を要塞化するなどして備えたが、翌8年の菱脇合戦で陥落する。連龍は能登・加賀が織田領となり荒山峠を越えてくる越中勢の監視を強化するために、金丸城を廃して能越国境がより正面に見える徳丸城に拠点に移したと考えられる。



最高所北直下を遮断する堀切



主郭



主郭直下の細長い曲輪群 垂直に近い削壁（切岸の役割も）が一見石垣のように見えたが、土の表面が緑色に苔むす



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>